創世紀2章4節～２章25節

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　文責：T

前回：1章～2章3節まで・・・

6日間で世界、動植物、人間が創造され、7日目に神が休息した。

Q1.2章4節～5節

　「これが天地創造の由来である。主なる神が地と天を造られたとき、地上にはまだ野の木も、野の草も生えていなかった。主なる神が地上に雨をお送りにならなかったからである。また土を耕す人もいなかった。」とありますが、既に1章～2章3節において、植物や人間は創造されていたはずです。何故このような記述があるのでしょう？

2章8節「東の方のエデン 」・・・「エデン」は中東地方の古代語で「平地」という意味。

Q3.エデンというのは地球上に実在する（あるいは実在した）場所だと思いますか？あるいは象徴的な表現だとすると、どのような場所、あるいは状態を指しているのでしょうか。

Q4.どうして「善悪の知識の木からは、決して食べてはならない」のでしょうか？（「必ず死ぬ」から、以外で・・・善悪の知識の木の実を食べると、どうなるのか？）

Q5.何故食べてはならない実をつける木を神はわざわざ人の手の届くところに作ったのでしょうか？

Q6. 2章19節では人の後に動物が創られたことになっています。これは1章とは矛盾しないのでしょうか？（Q1と同じように、複数の文書が合体したと言う説で順序の異なることの説明

はできますが、「人間が独りでいるのはよくない」から獣を作ったという因果関係が示されています。どっちが正しいのでしょうか？）

・・・疑問点

（クリスチャン的には）「聖書は矛盾や誤りのない書物なのか？」

Q7.同じく「人がそれぞれをどう呼ぶか見ておられた。 」とありますが、なぜ人間（アダム）に動物の命名をさせたのでしょうか？（生き物に名前をつける意味とは？）

Q8.18節、20節に「助ける者 」とありますが、「助ける」って具体的に何をするのでしょうか？

Q9.他の生き物（少なくとも動物）やアダムは、土から創られましたが、何故女性は男のあばら骨から創られたのでしょうか？

Q10.女性は男性を「助けるもの」として創られた、とあります。また、他にも「テモテへの手紙（１）２章9節～15節 」「コリント信徒への手紙（１）１４章34-36 」など、女性は男性より劣ったもの、サポート役とも取れる箇所もあります。聖書は男女差別を容認（推奨）しているのでしょうか？

Q11.裸を恥ずかしいと感じ無かったのは\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ため。

→では裸であることは「悪」なのか？（善悪を知らなければ、「悪」や「罪」、「恥」という概念はない？）